

愛媛県松山東警察署協議会（書面会議）会議録
（令和3年度第3回）

日時	令和4年2月（新型コロナウイルス感染防止のため書面での会議を実施）	
協議者	1 警察署協議会 会長以下14人 2 警察署 署長以下20人	
議事概要	1 署長挨拶 ○ オミクロン株の拡大により、書面会議に変更させていただいた。 ○ 諮問を含め、警察業務への忌憚のない意見を。 2 業務推進結果、業務推進計画等の説明 令和3年9月から12月までの業務推進結果、令和4年1月から4月までの業務推進計画について、担当課作成資料により報告、説明をした。 3 諮問及び答申	
	諮問	答申
	令和4年松山東警察署運営目標	○ 全体に対する答申 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多種多様な事案に対し、予め備えておくことは容易ではないが、培った知識や経験を元に、引き続き市民を守る活動をお願いする。 ・ 市民を守るための多くの目標設定に感謝する。 ・ コロナ禍で活動にも大変なご苦労があると思うが、引き続き治安の維持に努めていただきたい。 ・ 多忙な業務を推進されていることに感謝するとともに、警察職員自身にも豊かな私生活が保障されていることを切に願う。 ・ 市民の期待と信頼に応える強い警察を確立するためにも、先般、報道されたような不祥事が起こらないようお願いしたい。 ○ 各重点目標に対する答申 <ol style="list-style-type: none"> 1 市民の安全・安心を守る犯罪抑止対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍のため、日常生活が制限されたことによりストレスが原因となる、暴力的行為やいじめを身近に感じることから、子供・女性・高齢者等立場の弱い者が気軽に相談できるような優しい警察であって欲しい。 ・ 警察主催の安全教室や道徳的な講習を多くしていただけると安心できる。

議 事 概 要	<p>令和4年松山東警察署運営目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成には地域住民との日常の交流も重要なため、町内会等のイベントへの参加をお願いする。 ・ 弱者として「子供・女性・高齢者」と列挙されているが、必ずしも性犯罪等の被害者は女性に限定されず、性的マイノリティへの配慮からも、「男女」という表現は控えても良いのではないか。 <p>2 市民の生活を脅かす犯罪への対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>3 市民を交通事故から守る活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が交通量の多い幹線道路を横断する姿を見かけるため、交通指導の徹底及び横断歩道の増設をお願いする。 ・ 高齢者が起因する交通事故が多いことから、運転免許証の更新時に徹底した技術指導も行っていただきたい。 ・ 子供達の登下校時間帯のパトロールや見守りをお願いする。 <p>4 大規模災害、テロ等有事に備える取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等は自らが情報を入手しにくいいため、高齢者を対象とした独自の説明会や講習の開催をお願いしたい。 <p>5 警察活動を支える取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし
	<p>4 質疑応答、意見要望等</p> <p>【質問】</p> <p>先日、古紙を不法収集している者を松山市役所職員が制止しようとして、怪我をするといった事件があったと思うが、無断収集をしている車両のナンバーを知らせれば取り締まりをしていただけるのか。</p> <p>【回答】</p> <p>いただいた情報に基づいて必要な捜査等を行い、指導や検挙を行うことが可能となりますので、積極的な情報提供をお願いします。</p> <p>【要望】</p> <p>高齢者の詐欺被害防止に向けた講習会開催などの詐欺被害防止策をどう進めていくのか。</p> <p>【回答】</p> <p>講話では、迷惑電話防止機能付き電話機の紹介や、自動通話録音機等を使って特殊詐欺被害を疑似体験していただくなど、体験型の講話を中心とし、聴講される方々に興味を持っていただける内容となるよう努めています。</p>	

議
事
概
要

今後も、こうした体験型の講習会や、高齢者の方々だけでなく、幅広い年齢層の方々に対しても被害の具体的な状況など知っていただくようタイムリーな情報発信と効果的な広報啓発活動を推進していきます。

【要望】

SNSや防犯グッズなど時代に合ったツールを有効活用した安全で暮らしやすい社会づくりを警察にも実施していただきたい。

【回答】

関係機関・団体や防犯ボランティアの方々と連携した地域の見守り活動を引き続き積極的に行うとともに、防犯カメラの設置促進など安全安心なまちづくりに向け各種警察活動を行っていきます。

また、学校への非行防止教室を通じて児童・生徒にSNSの危険性を訴えるなど教育機関と連携した広報啓発活動を行います。

さらに、令和4年3月1日からは県警初のアプリ「愛媛県警察まもるナビ」の運用を開始し、特殊詐欺情報や不審者情報、交通情報などの情報を随時配信していますので、今後も、県民の皆さんが安全で安心して暮らせるよう、防犯等に役立つ情報をタイムリーに配信していきますので、是非、「愛媛県警察まもるナビ」のダウンロード及びユーザー基本設定をしていただきますよう、お願い致します。

【要望】

県警が3月から運用開始するスマートフォンアプリ「愛媛県警察まもるナビ」の普及に向けた取組みの推進をお願いする。

【回答】

関係機関・団体や、関係事業者、防犯ボランティア等に登録の働きかけを行っているほか県民の方々に対しても、ポスターの掲示やチラシの配布、SNS等各種広報媒体を通じてアプリの普及促進を図っています。

また、令和4年4月以降、新年度を迎えれば、警察本部から教育委員会等を通じて教育機関及び保護者へ周知し、普及促進を図ることとしています。

今後も、教育機関や防犯ボランティアの方々と連携した見守り活動やタイムリーな不審者情報等の発信などにより、児童の安全確保を図っていきます。

【要望】

学校等と連携し、新入生の登下校時における安全確保の徹底をお願いする。

【回答】

引き続き、関係機関と連携し、児童登下校時の見守り活動を推進します。

【要望】

令和3年の重要凶悪犯罪認知件数増加の要因及び共通する事情や傾向について把握し、令和4年の凶悪犯罪の具体的な未然防止に繋げていただきたい。

【回答】

(1) 認知件数増加の要因

当署管内における令和3年の重要凶悪犯罪の認知件数は16件で、令和2年の認知件数より6件増加しています。

特に、性犯罪は、羞恥心等から被害者が周囲への相談を躊躇する等、潜在化しやすい側面を有しており、これら問題を解決すべく、令和2年6月に国の関係府省庁会議において、「性犯罪・性暴力対策の強化」について協議が行われています。

同会議決定を受け、令和2年度から同4年度までの間を、性犯罪・性暴力対策の集中強化期間と位置付け、関係省庁が連携して各種施策に取り組むこととなり、警察においては、捜査段階における二次的被害の防止、相談窓口の連携や被害者支援の充実等に取り組んでいます。

こうした性犯罪被害者がより相談しやすい環境づくりが推進され、警察相談窓口へ「被害の届出を躊躇している」旨の相談等が寄せられた際には、相談者の心情に配慮しながら、今後の捜査の流れや警察として取りうる支援等について丁寧に説明する等、不安の解消を図りつつ被害の届出を促しており、こうした取組みが、強制性交等事件の認知件数が4件増加した一因になったと考えられます。

今後、警察を含め、相談窓口が更に充実し、社会での認知が広がれば、強制わいせつ事件を含めた、この種事案の認知件数が増加する可能性があると考えられます。

(2) 共通する事情や傾向及び未然防止策

令和3年に当署管内において認知した重要凶悪犯罪で、同一被疑者や同一地区での連続犯行等の特徴的な傾向は確認できないが、強制性交等事件や強制わいせつ事件12件のうち、4件が「夜の繁華街」で発生しています。

また、暴行や傷害といった粗暴犯罪の発生率も「夜の繁華街」は、他と比べ高くなっているため、警戒警ら強化して犯罪の未然防止を図るとともに違法行為者に対しては、厳正に対処します。

【要望】

スマホをしながらの自転車運転への指導取締りを願います。

【回答】

県警では、携帯電話で通話をしたり、携帯電話の画像を注視する行為について県独自の取締重点とし、交通切符（赤切符）で検挙できる違反として取締りを強化しています。

特に、毎月10日を「自転車安全利用の日」と定め、交通監視活動を含めた自転車指導を行っており、引き続き「ながら運転」をはじめとした自転車のルールの指導徹底を推進します。

【要望】

横断歩道手前での一時停止や徐行が徹底されるような指導や施策を願います。

議
事
概
要

【回答】

本県の横断歩道の停止率は、J A Fの調査で令和2年が14.5%であったが、令和3年は43.1%に上昇しています。

今後も「横断歩道止まろうキャンペーン」を継続し、横断歩道における車両の一時停止の広報啓発や交通取締り、街頭指導活動を推進します。

【要望】

横断歩道の手前に減速のしるしを道路に記していただきたい。また、歩道の幅を広くしていただきたい。

【回答】

道路の減速マークや歩道を広くするなどの主管は、道路管理者であることから、道路点検を行いながら道路管理者と連携を図り検討してまいります。

【要望】

高齢者の免許更新時における徹底した実技指導の実施をお願いします。

【回答】

現在、70歳以上の高齢者が免許証の更新を受けようとするときは、高齢者講習を受けることとなっており、講習の一部に実技講習も含まれています。

今後も継続して厳密な運転適性の検査に基づく指導を推進します。

【意見】

中学生の職場体験学習の受け入れは、警察の業務を知ってもらう良い行事だと思うので引き続き実施していただきたい。

【意見】

今回配付された資料は、警察用語的な表現が薄らいでいる感じがしたので、引き続き市民目線で伝えていただきたい。

【意見】

警察の業務のお陰で、私達の安全が守られていることを知る良い機会となった。